

令和 7 年 8 月 1 2 日

東員町議会

議長 南部 豊 様

東員町議会 議員 片松 雅弘

研修報告書

研修期間	<u>令和 7 年 8 月 6 日 (水)</u>
研修 (視察) 先	いなべ市議会
目的 (テーマ等)	議会における施策評価・事務事業評価について
参加議員名 (複数の場合)	東員町議会 14 人全員
資料添付の有無	有 ・ ④無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

「東員町議会事務事業評価実施要領」に基づき議会事務事業評価を行っています。

目的・意義

東員町議会基本条例第2条の規定により、議会においては市政執行に対する評価・監視機能をさらに充実させるため「議会事務事業評価」を実施し、PDCAサイクルを効果的に機能させ、様々な行政運営の質を高め、より効果のある町民福祉の向上及び町の健全な発展を図るものとする。そして、当該事業についての提言を行うことにより、今後の事務事業の改善及び予算編成に活かし、決算と予算の審査に連動性を持たせるために実施する。

① 事務事業評価実施の手順

2つの分科会ごとに、事務事業マネジメントシートより2項目程度を事業選定する。

② 事務事業評価の実施

分科会ごとに選定した事務事業について当局への質疑を経て事業評価を行う。

③ 分科会ごとに評価を経た後、予算決算常任委員会で評価決定

予算決算常任委員会は分科会評価を基に最終評価を行い議長へ報告する。

改善・提案などの付帯決議とする場合は本会議で提案する。

④ 評価結果の当局への通知

議長名で町長あてに評価結果を通知する。

⑤ 次年度予算への反映結果などについて執行部からの説明を受け、予算審査に向けての検証と論点整理を行い、当初予算を審査。

東員町では、上記のような流れで事務事業評価を行っています。

今回視察した、いなべ市さんでも同じような工程です。細か事では、いなべ市では会派によって事業選定を行い、合意形成を丁寧に行っているとお話しされました。

参考になったことは「事務事業」単位で評価せず総合計画の「施策」単位で行っている事でした。議会で決議した総合計画に責任を持ち、計画の目標と事務の執行が一致しているかを検証するとの考え方には納得しました

ぜひ東員町議会でも取り入れていきたいと思います。

何事も進めていくためには、熱意を持って取り組んでいかなければ、ただやるだけになってしまいます。

特に、議長・予算決算常任委員長は**責任と覚悟**を持って取り組んでいただきたいと思います

いなべ市の概要

条例定数 18 人

現議員数 18 人（令和 5 年 11 月 27 日現在） 内女性議員 5 人

任期 令和 3 年 12 月～令和 7 年 11 月 30 日

平均年齢 63 歳

当選回数

1 回	2 回	3 回	4 回	6 回
6 人	4 人	3 人	1 人	4 人